

広報いしかわ

Ishikawa Prefecture

テレビ広報

北陸放送

【ほっと石川】
3月23日(土) PM3:30~4:00
【知事へ聞く〜平成25年度実質当初予算〜】

石川テレビ

【ウィークリーいしかわ】
毎週日曜 PM5:25~5:30

テレビ金沢

【石川まるごと探検隊】
3月24日(日) AM7:30~8:00
【STEP21〜北陸新幹線金沢開業に向けて〜】

北陸朝日

【石川ほっとニュース】
毎週土曜 PM5:55~6:00

ラジオ広報

北陸放送

【県からのお知らせ】
毎週火・金曜 PM2:30頃(3分間)

エフエム石川

【素敵にモーニング】
毎週日曜 AM9:55~10:00

メルマガ石川

毎週金曜日、お得意に立つ情報を配信!!
登録はこちらから

https://ishikawa-mmag.com

QRコード

ホームページ www.pref.ishikawa.lg.jp E-mail e130500b@pref.ishikawa.lg.jp 行政相談 ☎076(225)1100

石川の未来を切り拓く戦略重視予算

平成25年度実質当初予算案
(平成24年度第1次3月補正予算及び平成25年度当初予算)

一般会計 **5,478億3,600万円**

(対前年度当初予算比4.6%増)

40%増の公共投資を確保し、地域経済を下支え

- 国の経済対策を受けて平成24年度補正予算と25年度当初予算を一体的に編成。前年度比40%増となる1,238億円の公共投資を確保し、地域経済を下支え
- 県民生活の安全・安心を確保するため、県内全域で道路の舗装補修や河川のたい積土砂の除去、インフラ老朽化対策などを実施



ここがポイント!

3つの重点課題を据えて編成

- 北陸新幹線金沢開業に向けた首都圏戦略の強化と受け地の魅力向上
- 石川県の産業における新たな成長戦略の策定
- 県民生活の安全・安心の確保



北陸新幹線金沢開業に向けた首都圏戦略の強化と受け地の魅力向上

北陸新幹線の金沢開業まであと2年。「首都圏でのPR」と「受け地での魅力向上」を車の両輪として、観光はもとより、交流基盤の整備や農業、産業振興などあらゆる分野において開業を具体的にイメージしながら準備を加速させます。

(1) 首都圏へ向けた戦略的誘客対策の推進

- 観光施策を総合的・戦略的に進めるため、観光交流局を「観光戦略推進部」に強化。また「新幹線開業PR戦略実行プラン」の推進に向け、「首都圏戦略課」と東京に「首都圏誘客推進室」を設置

●新幹線開業PR推進ファンドの創設

120億円の「新幹線開業PR推進ファンド」を創設し、来年度からの5年間、運用益を活用して、集中的に開業PRを実施します。ファンドの積み立てにあたっては、県民や企業の皆さんにも「ふるさといしかわ債」の購入で、ご協力いただきたいと思います。(夏頃募集予定)

- ファンドを活用し、首都圏で思い切った開業PRを展開(イベント参加、東京駅でのPR、私鉄などとの連携)
- 首都圏アンテナショップの移転、機能強化に向け準備

(2) 開業効果の全県波及に向けた受け地の魅力向上

●金沢城公園の整備

北陸新幹線金沢開業までに金沢城三御門の完成を目指して整備を進めます。また、玉泉院丸跡については、石垣と庭園が一体となった立体的で他には類を見ない城郭庭園の復元に向け、庭園整備に着手します。

- 能登有料道路無料化PR、道路ネットワークの充実など

- 並行在来線運行支援基金の設置(乗継割引の実施や運賃値上げの抑制などを支援)
- ルビーロマンやフリージア「エアリーフローラ」のブランド化の推進。これに続く能登牛、原木しいたけ「のとてまり」、トリガイなどの魅力向上



(3) 県内外・世界をつなぐ人とのものの交流の促進

- 日本寄港最大級となる約14万トンのクルーズ船を含む14隻が来港し、約1万人が上陸する金沢港において、市街地へのシャトルバス運行などを行う受け入れ態勢や大水深岸壁延伸の整備(大型貨物船2隻の同時接岸が可能に)

石川県の産業における新たな成長戦略の策定

●新産業振興指針の策定

人口減少に伴う国内市場の縮小、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、大手メーカーの生産拠点の海外移転進行など、県内産業を取り巻く環境の変化に対応するため、県内企業の海外展開も視野に入れながら、現在の「産業革新戦略2010」を深掘りするかたちで、新たな産業振興指針の策定に着手します。

●首都圏販路拡大に向けたいしかわ産業化資源活用推進ファンドの拡充

本県の豊かな食材や伝統的工芸品などを活用した新商品や新事業の創出を支援する「いしかわ産業化資源活用推進ファンド」を、全国最大規模の300億円に拡充します。また、「石川のこだわり商品フェア」を県内だけでなく首都圏でも開催し、開発された商品の販路開拓やさらなる商品開発につなげていきます。

- 経営・資金・雇用のセーフティネットの構築(企業ドック制度の拡充、中小企業の運転資金の融資枠の確保、求人の開拓や再就職の支援など)

県民生活の安全・安心の確保

(1) 東日本大震災を踏まえた防災対策の充実強化

●原子力防災計画の見直しを見据えた防災体制の整備

国から原子力災害対策指針が示されたことから、県でも避難の基準や具体的な避難先なども盛り込んで原子力防災計画を見直します。また、原子力災害発生時に現地の拠点となる志賀オフサイトセンターは、原子力発電所から5km圏内にあるため、国が定めた範囲内(5km~30km)である志賀町西山台に移設するほか、施設が使えなくなった場合の代替施設を県庁舎と県立能登総合事務所に設置することとし、準備を進めていきます。



(2) 生活環境の保全

- PM2.5(微小粒子状物質)の観測体制の強化(測定局を4局から7局に増設)

(3) 安全で良質な地域医療の安定的な確保

- 専門病院から身近なかかりつけ医まで、一貫性のある医療が受けられるよう、県内医療機関の約半数が参加する、全国最大規模の診療情報共有システムを構築
- 医師の確保や高度医療機器の充実、搬送件数の多い、外傷を負った救急患者に対応する研修の実施
- 消防防災ヘリを活用した能登北部地域等における救急搬送体制の強化

●県立中央病院の建て替え

県民に信頼される高度専門病院を目指し、実施設計に取り組みます。



(主な特徴)

- 温かみを感じられ周辺の街並みとも調和するアースカラー
- 総合周産期母子医療センターを手術室や小児科病棟と同一フロアに配置(全国初)
- 検査室と診察室を一体的に配置した女性専用外来エリアを設置(全国初)
- 一般病棟の全てのベッドサイドに十分に採光できる窓を設置

(4) 自然と人が共生できる社会づくり

- いしかわ動物園でのトキの公開展示に向けた準備と新たな繁殖ペアの受け入れ

時代を先取りするいしかわの新たな取り組み

(1) 世界農業遺産「能登の里山里海」の活用・保全と魅力発信

- 首都以外の地で初めて開催される、能登での世界農業遺産国際会議(5/29~6/1)におけるPR

(2) 再生可能エネルギーの利活用推進

- 再生可能エネルギー推進計画の策定
- 下水汚泥から発生するメタンガスの有効活用や、農業用水を活用した小水力発電の導入推進
- 省エネ機器等の開発から販路開拓まで、県内企業のエネルギー関連市場への参入を支援

未来を拓く心豊かな人づくり

●いしかわ師範塾の開講

教員の大量退職に伴う世代交代を控え、優秀な教員を育成・確保するため「いしかわ師範塾」を開講。教員志望の学生を対象に、少人数グループによる模擬授業など手厚い指導により、実践的な指導力を養成します。